

「平成28年熊本地震」に対する国立病院機構の取組（現状報告）

平成28年4月22日

「平成28年熊本地震」が発生してから1週間が経過しました。これまでの国立病院機構の取組についてご報告させていただきます。引き続き、地域の医療需要の変化に適切に応じて他の医療機関等とも協力しながら、被災地支援に全力で取り組んでまいります。

<1. 体制整備について>

4月14日 機構本部に災害対策本部設置

熊本医療センターに現地対策本部設置

4月16日 大分医療センターに現地対策本部を設置

大牟田病院に後方支援拠点(※)を設置

※ 国立病院機構のネットワークを活かして、被災地のニーズに合わせた災害備蓄物資等の搬送を行うため、各病院からの支援物資の受入れ・被災地のニーズの収集・仕分け・発送を行っています。

4月19日以降 九州グループと合同で災害対策本部を開催(テレビ電話を使用)



(熊本現地対策本部)

<2. DMATにおける活動>

- 国立病院機構災害医療センター、大阪医療センターには、厚生労働省からの委託を受けて日本全体のDMATの活動を取りまとめる事務局が設置されており、今回のDMAT派遣でも全面的に協力しております。
- 熊本地震では、全国にある国立病院機構の病院からも多くの(4月21日16時時点でのべ56チーム)DMATチームを被災地へ派遣しています。
- 熊本県に設置された熊本県DMAT調整本部では災害医療センター、大阪医療センターを中心に多くの国立病院機構のDMATチームが、現地の医療需要の情報収集や体制の調整等に従事しているほか、被災地の病院等でも医療支援を行っています。
- 福岡県にある九州医療センターでも、被災地で大きな役割を果たしている福岡県DMATに多くの職員を送り、本部での調整から医療支援に至るまでその活動を支援しているところです。

国立病院機構のDMATチームの活動状況

	4月15日 16:00	4月16日 16:00	4月17日 16:00	4月18日 16:00	4月19日 16:00	4月20日 16:00	4月21日 16:00
活動中	6	13	33	30	19	20	16

(国立病院機構にて集計)

DMATの活動状況の経過について

	4月14日 23:00	4月16日 12:00	4月16日 15:00	4月16日 21:00	4月17日 11:00	4月17日 14:00	4月17日 22:00	4月18日 11:00	4月18日 21:00	4月19日 9:00	4月19日 13:00	4月19日 20:00	4月20日 9:00	4月21日 9:00
活動中	1	73	114	145	191	216	157	165	126	122	129	111	107	79

(厚生労働省「平成28年熊本地震関連情報」より)



(トリアージ (場所：熊本医療センター))

<3. DPAT(*)における活動>

- 国立病院機構肥前精神医療センター、琉球病院、榊原病院から多くのDPATチームが熊本県DPAT調整本部等に派遣され、被災地の精神科医療の支援に従事しています。
- 厚生労働省からの要請を受けて、DPAT統括経験者の職員を熊本県のDPAT調整本部に派遣し、現地の医療ニーズに対応するための体制作りに協力しています。

国立病院機構のDPATチームの活動状況

	4月15日 16:00	4月16日 16:00	4月17日 16:00	4月18日 16:00	4月19日 16:00	4月20日 16:00	4月21日 16:00
活動中	2	2	3	2	2	2	3

(国立病院機構にて集計)

- * DPAT：被災地に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門的な精神医療チーム

<4. 医療班の活動>

- 国立病院機構では、DMAT、DPATの活動に加えて、熊本地震発生の翌日15日から避難所等において医療支援を行う医療班を派遣しています。

- ※ 熊本地震発生からの活動状況
のべ15チームの医療班、83人が活動
(平成28年4月21日16時時点)



(医療班の活動)

<5. アレルギー対応食品の提供>

- 国立病院機構では、日本小児アレルギー学会からの要請を受けて、国立病院機構のネットワークを活かした支援体制(※)を設け、アレルギー対応食品の提供を行うなど、アレルギーのある被災小児の支援に協力しています。

※ 福岡病院でアレルギー対応食品の受入れ・仕分け・搬送
熊本医療センターでアレルギー対応食品の提供

(詳細) 日本小児アレルギー学会HP

<http://www.jspaci.jp/modules/embership/index.php?page=article&storyid=156>



(アレルギー対応食品の一例)

<6. 熊本医療センターの活動状況>

- 熊本医療センターは熊本城の近くに位置し、病院自体も一部破損していますが、震災直後から24時間体制で医療を提供しています。
- 他病院の患者受け入れや患者の広域移動にも尽力し、通常1日あたり20台程度の救急車搬送数が震災後は日々50台を超える中、その搬送に対応し、さらにヘリコプターによる患者搬送輸送にも対処し、被災地における医療活動に全力で従事しています。



(連なる救急車両)



(熊本医療センターの医療スタッフ)

国立病院機構本部総務部広報文書課
横田、安田（直通）03-5712-5062